

かみお

神尾たかよし NEWS

活動レポート



令和4年
11月7日
93号

県政報告

埼玉県議会自由民主党県政調査事務所 神尾たかよし事務所

埼玉県議会自由民主党議員団 副団長

令和元年度 埼玉県議会議員 (第122代)

令和4年度
所属委員会

●常任委員会/環境農林常任委員会
●特別委員会/自然再生・循環社会対策特別委員会

補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円

9月定例議会 (9月22日～10月14日)

最大規模の補正予算で原油・物価高騰、新型コロナへの対応強化へ

9月定例会は、原油価格や物価の高騰、長引く新型コロナへの対応を目的とした補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円の計上など議決し、10月14日に閉会しました。

補正予算の内、74億1,872万4千円は**原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援**として、**トラック運送事業者、観光事業者、農業者、福祉施設等への支援策**が盛り込まれています。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。

また、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれ死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費とし1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や通話録音装置等の導入経費を補助することとなりました。

これからも、県民誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々精進してまいります。



埼玉県の今後あるべき施策案などを、県民を守る視点から力強く提言。

原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援 …74億1,872万4千円

①福祉施設等の運営継続に対する支援

……………21億8,972万8千円

高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブ、私立学校、土地改良区等に対し補助する。

②トラック運送事業者の経営改善に対する支援

……………35億3,534万7千円

運送事業者に対し、補助するとともに、運送費への円滑な価格転嫁を促進する

③農業者の経営継続に対する支援

……………10億8,859万4千円

価格転嫁が困難な酪農家や採卵鶏農家等に対し補助するとともに、自給飼料の生産性向上を図るため飼料用機械の導入経費等を補助する。

④観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援

……………6億505万5千円

本県を目的地とする宿泊旅行に対して、最大3,000円分の地域観光クーポン券を配布する。

原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援 ……15億83万5千円

原油価格・物価高騰等の影響を受ける生活困窮者等への緊急支援

……………14億1,017万1千円

新型コロナウイルス感染症の拡大防止

……………1,619億6,282万円

①ワクチン接種の推進 ……75億230万8千円

②医療提供体制の確保・強化 ……1,480億4,304万8千円

③感染不安を抱える妊婦への支援 ……9,268万9千円

④福祉施設における感染拡大防止対策 ……63億2477万5千円

決算特別委員会が開かれ一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算を審査しました。

月日	内容	月日	内容
10月19日(水)	県内視察(日帰り)	10月28日(金)	保険医療部関係審査 環境部関係審査
10月20日(木)	総括的事項審査 企画財政部(含 出納、監査事務局)関係審査	10月31日(月)	警察本部関係審査・福祉部関係審査 埼玉県総合リハビリテーションセンター病院 事業会計審査(福祉部関係審査時に審査)
10月21日(金)	企業局関係審査 下水道局関係審査	11月2日(水)	都市整備部関係審査 産業労働部(含 労働委員会)関係審査
10月24日(月)	総務部(含 秘書課、人事委員会)関係審査 県土整備部(含 収用委員会)関係審査	11月4日(金)	農林部関係審査 危機管理防災部関係審査
10月26日(水)	県民生活部関係審査 教育局関係審査	12月定例会中	改善又は検討を要する事項の確認、討論、採決 12月2日 12月定例会閉会



決算特別委員会(自民党議員団)

9月定例議会 9月22日～10月14日(23日間)

9月県議会一般質問に登壇!!

神尾たかよし一般質問要旨

(令和4年10月4日登壇) 一部抜粋

埼玉県版時局匡救事業について

Q 原油・物価高騰等によって県民生活が影響を受けている今こそ、積極的に投資を実施すべきではないか？

A 県単独ではなく、県、市町村、民間の総力を結集し、議員のご指摘にもありました国の政策も活用しながら、重層的な投資を促し、中長期的に県経済の「成長と分配の好循環」を実現していきます。

Q 今こそ一國に匹敵する経済規模を持つ団体の長にふさわしい県政運営をすべきでは？

A 社会全体のDXの推進や脱炭素化の取り組みなど、将来を見据えた質の高い公共投資を行うことで、県経済の持続的な発展につながるバランスの良い県政運営を行っていきます。

Q 県政運営の自己採点を「100点」にするために、知事がこれから本当に取り組みたいことは何か？

A 100点を目指すに当たり、これまでの反省を踏まえつつ、4月にスタートした「埼玉県5か年計画」に掲げた各施策を真摯に実施していきます。

地震に強い埼玉県について

Q 県民一人一人の防災意識を高めるためにも東大阪市や東京都のように積極的に働きかける取り組みが必要ではないか？

A 現在取り組んでいる周知に加え、県民により身近な市町村の広報紙で特集を組んでいただくことやホームページ、アプリなど市町村と連携した広報を繰り返し実施することにより、地震に強い埼玉県の実現に向け積極的に取り組みます。

医療提供体制の充実のための取り組みについて

Q 令和五年度までに9,700人の勤務医が必要で、平成30年との比較では約1,000人が不足している。病床整備、医学生奨学金による医師養成、後期研修医の獲得・定着などの対策により医師不足の解消はどの程度すんだのか？

A 計画に基づく病床整備では、新たに220床が整備され、勤務医が17人増えています。医学生奨学金による医師確保では、70人増え今年度は101人が県内医療機関に勤務しています。後期研修医の獲得・定着では、採用者数は年々増加しており、平成30年度では228人でしたが、令和4年度では381人となっています。勤務医は常勤換算で平成30年度の8,697人から令和2年度には9,217人となり、520人増えていますが、令和5年度の必要医師数9,720人には更に503人の医師を確保する必要があり、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

Q 全県的な医療提供体制の充実のために、順天堂大学付属病院の整備計画をどのように進めていくのか？

A 大学をはじめ関係者と直接調整に当たるなど、病院の整備計画の推進に強い決意を持って取り組みます。

河川除草を踏まえた河川堤防の効率的な維持管理について

Q 河川除草をより工夫して、効率的で効果的な河川堤防の維持管理を図れないか？

A 今後は、複数年の河川除草や、地域団体による実施など、国や他県の状況も参考にしつつ、河川の適切かつ効率的な維持管理ができるよう、幅広く検討します。



最終日の最終質問者として登壇し、大野県知事へ県政運営について質問提言いたしました。

農地の有効活用について

Q 農地の有効活用を図る上でどのような施策を進めていくのか？

A 新制度の特徴をうまく活用しながら、計画策定をしっかりと支援し、農地の有効活用を図っていきます。

Q 自給飼料の安定的な供給にどのように対応していくのか？

A 飼料の地域内流通について、今後、畜産団体や農協などと連携して県全域でマッチングを支援する体制の構築に取り組みます。

全国都市緑化フェアの本県開催について

Q 全国都市緑化フェアの本県開催に向け検討を始めるべきではないか？

A これから立候補できる開催時期は、早くても令和11年度とのことです。市町村の意向などを確認しながら、開催について検討します。

下水道事業における市町・組合に対する技術支援について

Q 7月12日の大雨において、県が具体的にどのような支援を行ったのか？

A ポンプ場の早期復旧に向け、電力会社やメーカーに積極的に働きかけを行ったほか、本復旧に向けた災害査定に関しても技術的な提言を行うなど、発災以降、切れ目ない支援を行いました。

Q 再発防止に向けた県の対応は？

A 市町・組合における耐水化の取り組みが着実に進むよう、引き続き、助言を行います。

Q 下水道サービスの安定確保のために、市町・組合をどのように支援するのか？

A 24時間365日の安定的な下水道サービス提供に向け、市町・組合のニーズに合った支援を積極的に行います。

八高線にSLを走らせよう

Q 八高線でのSLの運行について、コロナ収束後の観光復活の目玉とするため改めて働きかけに力を入れるべきではないか？

A 地元市町や関係団体と課題の解決策や、観光客に楽しんでもいただけるイベントの開催などを協議し、改めてJRに対する働きかけを行います。

Q 沿線市町と県が一体となって意気込みを示すとともに、実施に向けた体制を整備することに関しての県の考えは？

A 県プロモーション戦略会議に部会を設け、検討してまいります。さらに、令和2年度のキャンペーンの際には、本県と群馬県にまたがる運行が計画されていたという経緯も踏まえ、群馬県にも連携できないか働きかけます。



各地域でのお困りごと御要望をお寄せください

連絡先 深谷市針ヶ谷399-1 TEL 048-585-3929



スマートフォンはこちらから

ホームページ kamiotakayoshi.com

Facebook (フェイスブック) で情報発信中!